

# 小学2年1組 生活科学習指導案

指導者 和田 律 央

「石橋町のキラリをわかりやすく伝える」というめあてをもってクイズを作り、実際によく伝わるかどうか聞き合うリハーサルをする活動をしたことは、石橋町で見付けたことを伝えたい、もっと自分たちの学校の周りのことを知りたいという願いを高めることに有効であったか。

1 単元名 あるいて！きいて！見つけよう！ ～石橋町のキラリ☆たんけんたい！～

## 2 単元のねらい

学校の周りの町を探検することを通して、地域の人やものに進んで関わり、地域に親しみをもつことができるようにする。

## 3 授業の構想

(1) 本学級の子どもたちは、1年生の時に1年間を通して隣接する幼稚園の年長児と関わりをもち、相手の気持ちを考えながら活動を続けてきた。この取組を通して、自分がやりたい遊びや活動に没頭して取り組むと同時に、「この遊びをしたら相手はどう思うかな」「楽しいかな」と相手の気持ちや立場に寄り添おうとする姿が見られるようになってきた。隣にただいるだけの年長さんという対象だったが、「一緒になかよく」という視点をもち活動することで、「一緒になかよく遊ぶためには」という問いをもつ姿が表れた。

2年生になり、1年生を学校案内する活動を行った。「やさしく、安全に、楽しく」というめあてを意識し、1年生を一人にしないようにと手をつなぎ、声をかけながら歩く姿が見られた。このように、対象は変わっても、その人と自分との関わりの中で、「次はこうしたい」「こうしたら、どうなるかな」「やってみよう」とさらなる願いや問いをもち追求する姿を期待している。

しかし、少し広い視野で見ると、学校にはいろいろな人がいて働いていることや家族や友だち、先生、学校に出入りする様々な人とのつながりが自分の生活を支えてくれていることにはまだ目を向けられていない。このような実態を踏まえ、本單元では、学校の周りの人と出会い、子どもたちのくらしを支える大切な人であることに気付くことができるようにすることをねらう。

(2) 本單元では、このような姿を目指すために、関わる対象を学校内の身近な人やものから、学校の周りの人やものに広げ、一人一人の思いがにつながる学習をしていく。ここで、子どもたちと関わらせたい対象として、石橋町の町を取り上げた。石橋町は古い町並みだが、昔から人と人との関わりが深く、そこに住む人のくらしをしっかりと支えている。このような魅力ある対象との出会いをすることで、子どもたちは、「このにおいはなんだろう？あのお店に行ってみたいな」というような気付きの芽生えがもてると考えた。この気付きを、自分の願いに引き寄せて問いをもつための手立てとして、お店やそこで働いておられる人に着目する。はじめての探検の際には、一つのお店に行き、お店の様子や働いておられる人に出会う場を設定する。この活動を振り返る中から、「他の店はどうなっているのだろう？」「他のお店の人にも話を聞きたいな」という問いが繋がっていくと考える。そして、「キラリを見付けよう」と提案することで、子どもたちがより主体的に追求の方向を明確にしていけると考えた。ここでの気付きを自覚化したり、学級全体で共有化したりしていくためにクイズという形で見付けたことを紹介する場を設定する。その場で「石橋町のキラリをわかりやすく伝える」という視点で活動することで、見付

けたことを伝え合う学び合いの場で人やものへの問いがつながっていくと考えている。

- (3) 石橋町を子どもたち一人一人が探検したい、探検を通して学んだことをいかし、伝えたいという思いを高めるためには、対象を徐々に広げながら、追求が深まっていくようにすることが大切である。そのために、石橋町への2回の探検を計画した。1回目は、学校の周りの様子の比較から石橋町の町並みに着目し、町の様子について予想を立て、それを確かめに行く活動である。2回目の探検では、1回目の探検で見付けたお店に着目し、石橋町のキラリを見付ける活動である。1回目の探検の中で、一つのお店の人との出会いをすることで、「他のお店はどうか？」「何があるのかな？」という問いにつなげ、「あのお店に行って話が聞きたい」「もっと知りたい」という願いへと高めていきたい。

本時では、石橋町への探検で見付けたことや出会った人を伝え合う。伝え合う手段としてキラリクイズのリハーサルを行う。クイズをする対象は隣の学級（2年2組）である。同じ探検をした2組を相手に、「自分たちはこんな石橋町のキラリを見つけたよ」という伝え合う活動を取り入れることで、石橋町という町に対する無自覚な親しみの気持ちを自覚化できるようにしたい。また、リハーサルを行う目的を明確にして活動することで、町への気付きが明確化され、「分かりやすく伝えるためにはどんな工夫をしたらいいかな」という新たな問いにつなげていきたい。このリハーサルを行う中で「どんなことがキラリなのか伝わったかな？」「よく分からないことはあるかな？」と掘り下げることで、「もっと分かりやすく伝えるためには」という視点を明確にした学び合いにつなげたい。そして、「まだ知らないことや知りたいことがたくさんある！」と問いが連続していく中で、自分たちのくらす学校の周りの町についての見方がより豊かになっていく姿を目指していきたい。

#### 4 展開計画（全19時間 本時16／19）

次	主な学習	時	具体的な学習・内容
1	学校の周りにはどんなものがあるのか見付けよう。	1	・屋上から学校の周りにあるものを見付ける。
		2	・学校の屋上から見た、学校の周りの様子について話し合う。
		3・4	・もっと知りたくなった場所に出かけ、どんなものがあるか見付ける。
		5・6	・出かけて見つけたことを出し合い、「わくわく探検マップ」を作る。
2	石橋町のキラリを見付けよう。	7	・「わくわく探検マップ」と航空写真を見比べて、学校の西側と東側の建物の違いについて考える。
		8	・学校の西側（石橋町）の様子について予想を立てる。
		9・10	・石橋町を探検し、町の様子について調べる。（石橋町探検①）
		11	・石橋町を調べて分かったことを出し合い、もっと知りたくなったお店について、聞きたいことを考える。
		12・13	・お店に出かけて質問し、キラリを見付ける。（石橋町探検②～キラリ探検隊～）
3	石橋町で見付けたキラリを伝え合おう。	14・15	・石橋町の探検で見付けたことやものを絵で描いたり、写真を使ったりして、「石橋町のキラリ」クイズにまとめる。
		16・⑰	・「石橋町のキラリ」クイズのリハーサルをしながら、石橋町のキラリをもっと分かりやすくするためにアドバイスし合う。
		18	・「石橋町のキラリ」クイズを通して、石橋町で見付けたことやものなど、隣の学級（2年2組）に石橋町のキラリを伝える。
		19・20	・石橋町で見付けたことやものをもとに、「石橋町キラリマップ」を作る。

## 5 本時の学習

### (1) ねらい

石橋町で見付けたキラリを知って欲しいという願いをもちながらクイズをしたり、どうしたらもっと相手に伝わるのかを考えたりすることができる。

### (2) 展開

学習場面と子どもの取組	教師の支援と願い・評価
1. 前半のリハーサルで出てきたアドバイスを振り返る。 ・お店の場所や商品の写真や絵があると、キラリがもっとよく伝わるんじゃないかな。	・リハーサル前半に出たアドバイスの中で、「初めて知って驚いたこと」や「人との出会い」という視点での意見を取り上げることで、本時で伝え合うことを焦点化して、めあてに付け加える。
もっとよく伝わる「石橋町のキラリ」クイズのリハーサルをしよう。	
2. 「石橋町のキラリ」クイズのリハーサルの続きをする。 ・グループごとに、探検の中で見付けたことをもとにして作成したクイズを行う。 <u>お店に関するクイズ</u> (絵カード・3択) ・このお店は、どれぐらいやっているでしょう。 →売っている物の名前をクイズにしたら？ <u>出会った人に関するクイズ</u> (写真・インタビュー) ・この人は、どのお店で働いている人でしょう。 →何人が働いているかの方がいいかな。 <u>見つけたものに関するクイズ</u> (地図) ・これは、石橋町のどこにあったでしょう。 →近くにあるものとか、ヒントがあった方がいいんじゃないかな。 3. アドバイスしてもらったことをもとにして、自分たちのクイズを見直す。 ・言葉だけでなく、写真を使うとどんなお店なのかがよく伝わっている。 ・お店のおすすめの商品があったから、それを紹介するとキラリがもっとよく伝わるんじゃないかな。 ・お店の人が、頑張っておられることも伝えたいな。 4. グループでの話し合いを振り返る。 ・もっとお店のおすすめの商品を紹介したくなったから写真を入れたいです。だって、その方がもっとお店のキラリがみんなに分かってもらえると思うからです。	・クイズのリハーサルは、みんなで石橋町のキラリを伝えるためにどんな工夫をしたらよいかを考えていく活動であるという見通しがもてるようにする。 ・お店、人について、クイズにしたいと思ったわけを解説として付け加えることで、その店の「キラリ」についての気付きを深められるようにする。 ・どういうところが、そのグループが伝えたい「石橋町のキラリ」なのかという点について、全体に投げかけ、価値付けていく。 ・クイズをしていく中で、もっとこうすればよく伝わるのではないかということをお互いにアドバイスし合うことで、今後の活動に見通しをもち、追求意欲を高めていけるようにする。 ・それぞれのお店のキラリを分かりやすく伝えるためにアドバイスをしてもらったことをいかに声にかける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">— 評価の観点(身近な環境や自分についての気付き) —</p> <p>石橋町で見付けたキラリを知って欲しいという願いをもちながらクイズをしたり、どうしたらもっと相手に伝わるのかを考えたりしている。</p> <p style="text-align: center;">【評価方法 発言・行動観察・ふりかえり】</p> <p><b>支援</b></p> <p>石橋町への探検での人やものとの出会いについての様子やクイズにした訳を聞くことで、思いを引き出す。</p> </div> ・自分たちが見付けた石橋町のキラリをもっと分かりやすく伝えたいという願いが高まるように、本時の学び合いの中での気付きを共有する時間をとる。

### (3) 本時で目指す子どもの姿

◎石橋町で見付けたことや人との出会いについて、もっと分かりやすく伝えたいという思いの高まりが表れている姿